

第3回飯塚市総合戦略有識者会議 事前意見集約及び回答一覧

	資料名	ページ	事前意見内容	回答
1	資料2	表紙	上の右端に取扱注意と書いてありますが、どのような意味でしょうか？	資料発送準備等があるため、12/19に閣議決定をされる前の資料を使用しています。HP公開時には内閣府で公開されている資料を添付します。
2	資料2	4	○地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくりに ◇都道府県及び市区町村におけるSDGsの達成に向けた取組の割合とありますが、どのような意味でしょうか？	「自治体SDGs推進評価・調査検討会」が2019年10月～11月に地方公共団体に対して実施したアンケート調査において、SDGs達成に向けた取組を「推進している」と回答した地方公共団体の割合：約13%(2019年度)⇒60%(2024年度) ※地方公共団体の取組割合を調査するに当たっては、以下の取組などの把握を行う。 ①SDGsのゴール・ターゲット等を参考にした政策目標の策定等による、2030年のあるべき姿を設定した将来ビジョンづくり ②部局を横断する推進組織の設置、執行体制の整備、進捗を管理するガバナンス手法の確立等による体制づくり ③SDGsの要素の各種計画への反映 ④SDGsの取組の的確な測定、情報発信、成果の共有 ⑤国内外を問わないステークホルダーとの連携 ⑥ローカル指標の設定 ⑦地域事業者等を対象にした登録・認証制度等の地域レベルの官民連携の枠組みの構築
3	資料2	9	4. (2)新しい時代の流れを力にする ②地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり の○に書いてある、「地方創生SDGsを実現」とは具体的にはどのようなことを指すのでしょうか？	・地方創生SDGsの普及促進活動の展開 ・地方公共団体によるSDGs達成のためのモデル事例の形成 ・「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」を通じた民間参画の促進 ・地方創生SDGs金融の推進 ・中小企業等による地域・社会課題の解決 ・地域循環共生圏の創造 ・温室効果ガスの排出削減と気候変動への適応を進める地域づくり これらの取組を行うとともに、以下の評価指標の検討がされています。 ○SDGs未来都市選定数 210都市(2018～2024年度累計)※現状60都市(2018、2019年度) ○「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」における官民連携マッチングの件数 1,000件(2020～2024年度累計) ○地方創生SDGs金融に取り組む地方公共団体の数 100団体(2020～2024年度累計)
4	資料3	目次 38	第1章 2. 計画の位置づけと対象期間 3. 人口ビジョンの位置づけ とあります。「位置づけ」がつけという平仮名表記になっています。38ページの最後の文章では「基礎として位置付けます。」と漢字表記です。どちらかに合わせていただきたいです。ちなみに、第2次飯塚市総合計画では、「位置付け」と漢字が使われていました。	文言修正につきましては、ご指摘いただいた箇所も含め、全体を確認し修正いたします。今後もお気づきの箇所がございましたら、ご指摘をお願いします。
5	資料3	38	第1章 1. 策定の背景と目的 7行目に「本市においても、国及び県の総合戦略を勘案し、」とあります。国の総合戦略については、資料3に記載もあり、今までの有識者会議でも配布資料としていただき、説明を受けています。が、福岡県の総合戦略については、資料3に掲載もなく、配布資料も説明もないようです。(されていたら、すみません。)1回目の会議で示されたスケジュールに記載されていないようですので、福岡県が策定中と思われる次期の総合戦略はいつ、どのように勘案されるご予定でしょうか？ また、福岡県のホームページによると、「令和元年度地方創生市町村圏域会議」が8月1日と10月23日にあり、参加市町村の担当職員が、各市町村の総合戦略の進捗状況や今後の課題について情報共有し、これら課題の解決のため、広域的な事業の実施について検討を行いました、と記載されています。飯塚市は、嘉麻市桂川町と広域的な事業実施をしているのかどうかをお教えてください。	ご指摘のとおり令和元年8月1日と10月23日に地方創生市町村圏域会議に参加し、各市町村の総合戦略の進捗状況や今後の課題及び本市の第2次総合戦略の策定方針等を伝え、県が策定する次期戦略への支障の有無等を確認しています。 また、他市町との広域的な事業実施については、本市の第2次総合戦略での具体的記載は行っていませんが、嘉麻市・桂川町と嘉飯圏域定住自立圏共生ビジョンに基づいて行っています。 なお、福岡県と連携した事業として、資料3のP50「まちづくり協議会活動推進事業」及びP52「移住支援事業」を行っています。

第3回飯塚市総合戦略有識者会議 事前意見集約及び回答一覧

資料名	ページ	事前意見内容	回答	
6	資料3	38	第1章 2. 計画の位置づけと対象期間 今回の資料3では、説明が文章だけのようですが、第1次総合戦略68ページで示されているように、図で示していただくと理解しやすいです。ご検討をお願いします。 また、ここで意見しているものかどうかわかりませんが、今、飯塚市子ども・子育て支援事業計画の市民意見募集期間です。ホームページ上に示された第1章 3. 計画の性格と位置づけに図式化されたものがありますが、総合戦略については図に示されていません。総合戦略の担当課としては、他課策定の計画に、総合戦略の記載は依頼されていないのでしょうか？この状態で、他課との整合性が取れているのが不安になりましたので、お尋ねしました。	第2次総合戦略と各計画は同列の計画ですので、他計画について総合戦略の記載依頼等は行っていません。 また、他課との整合性につきましては専門部会等で調整を行っています。
7	資料3	39	3. 飯塚市におけるSDGsの目標～持続可能な開発目標(SDGs)～とされていますが、そこに書かれている文章は、外務省のホームページで紹介されている『SDGsとは？ 持続可能な開発目標(SDGs)とは』の文章そのままのようです。最後の文で「この戦略においても、SDGsのターゲット達成につながるものと考えています。」と付け加えられていますが、飯塚市この戦略を説明しているように思えません。 この文章中の「日本としても」という表現は相応しくないように思えます。以下、対案を考えました。 ①内容の文章に合わせて(飯塚市のことだと感じられないので)、タイトルから飯塚市を外す 3. 持続可能な開発目標(SDGs)について とする。 ②3. 飯塚市におけるSDGsの目標～持続可能な開発目標(SDGs)～というタイトルはそのままにして、文章内に出て来る「日本」ではなく、他の箇所のように「国」とする。「この戦略」と表現してあるが、目次で「総合戦略編」と使っているため、合わせて「この総合戦略」としたらどうでしょうか。 「…国としても積極的に取り組んでいます。 この総合戦略においても、…」 ①か②への変更を希望します。	表記を変更します。 【変更前】3.飯塚市におけるSDGsの目標～持続可能な開発目標(SDGs)～ 【変更後】3.SDGs(持続可能な開発目標)と本総合戦略との関連について SDGsについては外務省の説明を引用しているため、「出展:外務省ホームページより」と記載します。
8	資料3	39	3. 飯塚市におけるSDGsの目標～持続可能な開発目標(SDGs)～の文章で、外務省の表記のままだとわかりませんが、個人的には、ゴールではなく国際目標、と書いていただいた方がわかりやすい気がします。	上記のとおり、外務省ホームページの引用のため、表記はそのままとさせていただきます。
9	資料3	39	1行目の最後の第1期「総合と鍵括弧がありますが、間違いだと思われます。削除をお願いします。	現総合戦略と同様の記載としており、強調させるために記載しています。
10	資料3		今回示された冊子の中にはSDGsの説明が不足していて、市民にわかりにくいと思いました。 内閣府地方創生推進事務局(平成31年4月9日発行)「第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に向けた地方創生SDGsの推進」の参考資料の1ページ目もしくは、外務省ホームページにある外務省「『持続可能な開発目標』(SDGs)について SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る」(平成31年1月)1ページ目の事務局が相応しいと思われる方を入れていただき、市民にわかりやすくご提示いただけませんか？	外務省ホームページの記載のとおりとしています。
11	資料3	40 ～ 53	基本的な方針は、です・ます表記で、具体的な事業は、体言止めを多用する、と統一されているのでしょうか？ 句点の付け方がばらばらで見づらいです。	ご指摘のとおり統一を行っています。 句点の付け方についても統一を図ります。
12	資料3	41	具体的な事業 ○経営コンサル・各種アドバイザー派遣事業の「経営/財務/…」とここだけがスラッシュで表現されているのは、何か意味があるのでしょうか？ なければ、他のところと合わせて、中黒点・もしくは、読点表記をお願いします。	全体を統一するためスラッシュでの表記ではなく、中黒点とします。 【変更前】「経営/財務/マーケティング…/販路拡大等の…」 【変更後】「経営・財務・マーケティング…販路拡大等の…」
13	資料3	42 43 48 51	検討する事業が空白ですが、何か意味がありますか？	来年度以降の計画期間も含め、今後の見直しの中で、総合戦略の趣旨に合う事業を記載する予定です。
14	資料3	43	○起業家育成支援事業 2行め取り組みをとおして、は取り組みを通して、と漢字表記の方が読みやすいです。	文言修正につきましては、ご指摘いただいた箇所も含め、全体を確認し修正いたします。 今後もお気づきの箇所がございましたら、ご指摘をお願いします。
15	資料3	49	基本的な方針の13行目の「取組を」を、他のところに合わせて「取り組みを」へ変更してください。 その4行した、最後に句点がありません。	文言修正につきましては、ご指摘いただいた箇所も含め、全体を確認し修正いたします。 今後もお気づきの箇所がございましたら、ご指摘をお願いします。
16	資料3	49	基本的な方針 15行めに「地域コミュニティを醸成し、地域の繋がりを育むため自治会、まちづくり協議会、NPO法人、ボランティア団体等との連携を進め、「交流・コミュニケーション」によって地域の活力が持続する安全・安心の協働のまちづくりに取り組みます」とありますが、この文章の出典をお教えください。	現総合戦略と同様の記載としています。

第3回飯塚市総合戦略有識者会議 事前意見集約及び回答一覧

	資料名	ページ	事前意見内容	回答
17	資料3	49	基本的な方針 15行めに「地域コミュニティを醸成し、地域の繋がりを育むため自治会、まちづくり協議会、NPO法人、ボランティア団体等との連携を進め、「交流・コミュニケーション」によって地域の活力が持続する安全・安心の協働のまちづくりに取り組みます」とありますが、なぜ、「交流・コミュニケーション」を括弧してあるのでしょうか？	強調するために括弧を表記しています。
18	資料3	49	基本的な方針 15行めに「地域コミュニティを醸成し、地域の繋がりを育むため自治会、まちづくり協議会、NPO法人、ボランティア団体等との連携を進め」とありますが、自治会以下の並びはこのままでいいのでしょうか？ 今、地域まちづくり推進条例が策定されようとしていますので、整合性が取れるようにお願いしたいです。	現在市民意見募集を行っている地域まちづくり推進条例案第1条には「この条例は、…市民等、地域活動団体、市民活動団体…」と記載しています。また、同第2条4項に「地域活動団体 自治会、まちづくり協議会、その他…」、同条5項に「市民活動団体 NPOやボランティア団体、その他…」と記載しています。そのため、地域活動団体等の標記ではなく、具体的な団体名等を記載しています。
19	資料3	54	飯塚市の他の計画(例えば、総合計画や子ども・子育て支援事業計画、地域防災計画、水防計画)では、参考資料を掲載する際に、ここで表記されている「巻末参考資料」ではなく、「資料」「資料編」と表記されています。なぜ、総合戦略では、「巻末参考資料」とされているのか、理由をお教えてください。特に理由がなければ、「資料」とするのはいかがでしょうか。 また、今現在の資料には、この有識者会議の設置要綱や開催要綱がありませんでした。入れていただけますか？	表記を変更します。 【変更前】「巻末参考資料」 【変更後】「資料」 また、有識者会議の開催要綱を追加します。